

ASCII

ASCII UNIX NETWORKER
MAGAZINE

MSX MAGAZINE LOGIN ファミコン通信

MSX CTERM ASCII

MSX NET The CARD 2

CANDY 3 informixTM 3.3

CHIPS



1977~



会社概要

資本金 39億2100万円
設立年月日 1977年(昭和52年)5月24日
社員数 428名

役員	代表取締役会長	郡司 明郎
	代表取締役社長	西 和彦
	代表取締役副社長、経営企画室長、 電子出版局長	塚本慶一郎
	常務取締役、パーソナルソフトウェア本部長	浜田 義史
	取締役、株式会社ソフトウイング社長	鈴木 豊
	取締役、システムソフトウェア事業部長	滝田賢太郎
	取締役、出版局長	藤井 章生
	取締役、営業本部長	吉村 昇
	取締役、システム機器事業部長	高橋 健一
	取締役、財務部長	藤木 正友
理事	経営管理室長	渡辺 洋
	出版局局長室 部門長	西村 弘紀
	システム機器事業部 技師長	山下 良蔵
	システムソフトウェア事業部 副事業部長	深瀬 弘恭
	電子出版局 編成室 部門長	宮崎 秀規
	システム機器事業部 副技師長	石井 孝寿
	アプリケーション開発部長	宮崎 孝

本社 東京都港区南青山 6-11-1
大阪営業所 大阪府大阪市北区梅田 1-11-4

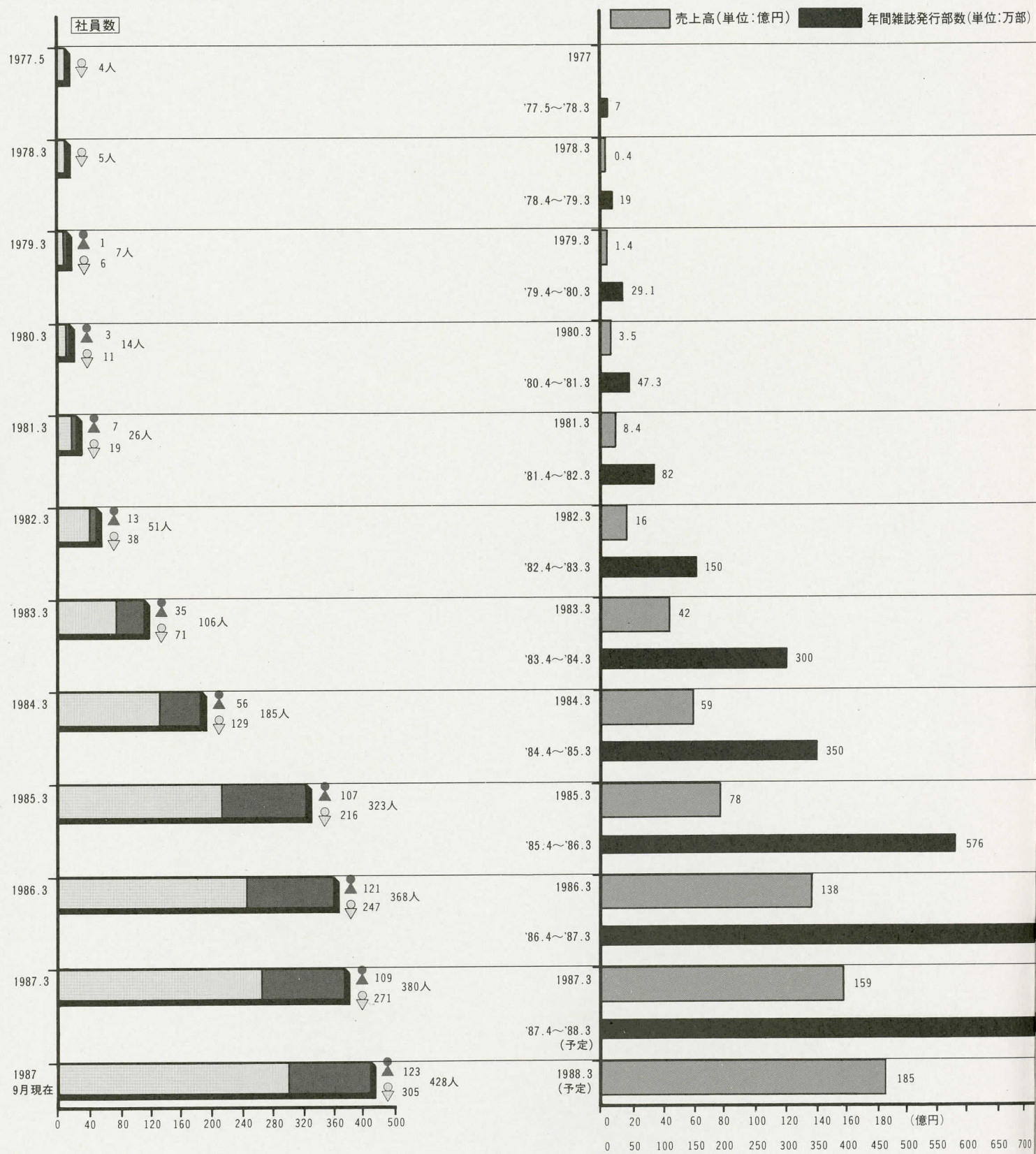
主要取引銀行 富士銀行、日本興業銀行、安田信託銀行、協和銀行、
三菱銀行、三和銀行、住友銀行、太陽神戸銀行、
兵庫相互銀行、東京銀行、第一勧業銀行

目次

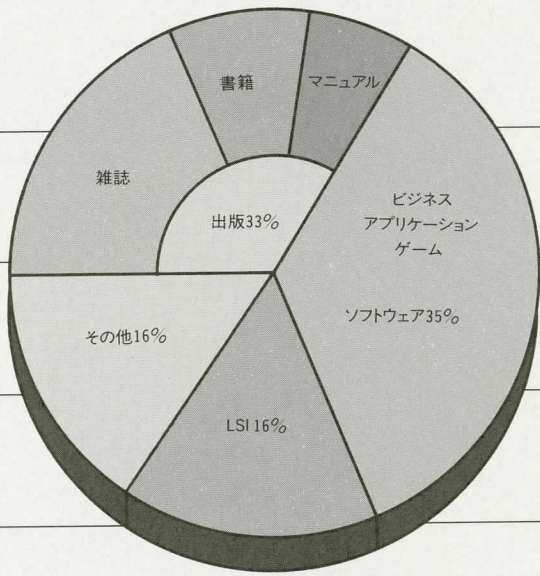
会社概要
ASCII 10年のあゆみ
主要取引先

ごあいさつ	1
ASCII PEOPLE	2・3
出版局	4・5
パーソナルソフトウェア本部	6・7
システムソフトウェア事業部	8・9
システム機器事業部	10・11
電子出版局	12・13
営業本部	14・15
財務部／経営管理室／経営企画室／技術企画室／アスキーライブラリー	16

組織図
主要営業品目
アスキー関連会社・主要提携先



1987年度 売上構成



●1977年(昭和52年) 5月 株アスキー出版設立
6月 月刊“アスキー”創刊

●1978年(昭和53年) 10月 米国マイクロソフト社と提携
マイクロソフト社極東代理店として
株アスキーマイクロソフト設立

●1979年(昭和54年) 4月 ソフトウェア開発部門「アスキーラボラトリーズ」
設置

●1980年(昭和55年) 11月 株アスキーコンシューマプロダクツ設立

●1981年(昭和56年) 11月 月刊“アスキー”発行部数8万5000部を突破
(1987年9月現在・15万部)

●1982年(昭和57年) 5月 月刊“アスキー”の別冊として月刊“ログイン”
発行
9月 第1回朝日パーソナルコンピュータショー企画協力
12月 株アスキー出版を株アスキーに社名変更

●1983年(昭和58年) 4月 株アスキーコンシューマプロダクツを株アスキー
に併合 月刊“ログイン”創刊
6月 8ビットパソコン統一仕様MSX提唱
11月 月刊“MSXマガジン”創刊

●1984年(昭和59年) 4月 株アスキーマイクロソフトを株アスキーに併合
10月 月刊“アспект”創刊

●1985年(昭和60年) 5月 MSX上位仕様“MSX2”発表
アスキーネットワーク実験稼働開始
7月 大阪営業所設立
9月 米国チップス・アンド・テクノロジー社へ出資、
日本総代理店契約を結ぶ

●1986年(昭和61年) 3月 米国マイクロソフト社との独占代理店契約を解消
6月 隔週刊“ファミコン通信”創刊
7月 株ソフトウイング設立に参加
9月 月刊“ネットワークカーマガジン”創刊
10月 月刊“UNIXマガジン”創刊
12月 VMテクノロジー株設立に参加

●1987年(昭和62年) 2月 株グラフィックス・コミュニケーション・テクノ
ロジーズ設立に参加
株テレマティーク国際研究所設立に参加
3月 半月刊“EPニュース”創刊
4月 新会長に郡司明郎、新社長に西和彦が就任

1332

1500

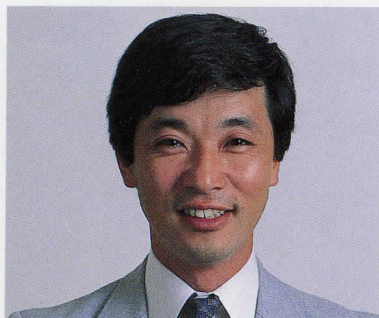
750 800 850 900 950 1000 1050 1100 1150 1200 1250 1300 1350 1400 1450 1500(万部)

CUSTOMERS

主要取引先

株式会社大阪屋	Bit inn東京
協和出版販売株式会社	Bit inn大阪
栗田出版販売株式会社	マイクロソフト株式会社
株式会社コーサカ	ラオックス株式会社
誠光堂書籍販売株式会社	YDKシステムセンター
株式会社太洋社	
株式会社中央社	アルプス電気株式会社
東京出版販売株式会社	沖電気工業株式会社
日本出版販売株式会社	カシオ計算機株式会社
株式会社フタバ図書	キヤノン株式会社
	京セラ株式会社
株式会社電通	三洋電機株式会社
株式会社博報堂	シャープ株式会社
株式会社放送出版	セイコーエプソン株式会社
	ソニー株式会社
共同印刷株式会社	株式会社東芝
三共グラビア印刷株式会社	日本アイ・ビー・エム株式会社
壮光舎印刷株式会社	日本楽器製造株式会社
株式会社田村洋紙店	日本電気株式会社
大日本印刷株式会社	日本電信電話株式会社
図書印刷株式会社	日本ビクター株式会社
凸版印刷株式会社	バイオニア株式会社
日本紙パルプ商事株式会社	株式会社日立製作所
福田工芸株式会社	富士通株式会社
	株式会社富士通ゼネラル
石丸電気株式会社	ブラザー工業株式会社
株式会社大塚商会	松下通信工業株式会社
オムロンマイコンシステムズ	松下電器産業株式会社
株式会社シーエスケー	三菱電機株式会社
サトームセン株式会社	横河北辰電機株式会社
上新電機株式会社	株式会社リコー
真光無線株式会社	
株式会社西武百貨店	伊藤忠商事株式会社
株式会社西友	住友商事株式会社
株式会社ソフトウイング	日商岩井株式会社
株式会社ソフトウエア ジャパン	丸紅株式会社
株式会社ダイエー	三井物産株式会社
株式会社日本ソフトバンク	三菱商事株式会社
日本マイクロコンピュータ株式会社	

(各項目アイウエオ順／敬称は略させていただきました)



代表取締役会長
郡司 明郎

アスキーは創業して十年、社員一人ひとりとまた全社一丸となってチャレンジ精神を旺盛に発揮し現在の会社を築いてきました。その結果、パーソナルコンピュータ産業の健全な発展にも寄与したと自負しています。

今日、斯界を取り巻く環境が厳しさを増す中で、個々の力で開拓できる分野は非常に狭まっています。ここで大切なものは当社の伝統であるチャレンジ精神を継承し、さらに個々の力を結束したチームワークの精神を築いていくことです。



代表取締役社長
西 和彦

アスキーが生まれた年は、パソコンはこの世に存在していない、そんな時代でした。出版からスタートして、ソフトウェア開発、LSI設計、通信、と事業を発展させ、いろいろな人に助けていただき、この十年は非常にラッキーだったと思います。

十一年めのアスキーは創業の心にもどっておごらずにマンネリにならずに、素直な気持ちで、ひたむきに前進していきたい。そして常に若さを大切にしていきたい。若さのエッセンスは変化に敏感な感受性と迅速な行動力であり、アスキーのエッセンスでありたい。



代表取締役副社長
塚本 慶一郎

パソコンの性能は年々進歩していますが、使い勝手はまだ充分でないようです。十周年を迎え、あらためてパソコンの価値を生かす商品づくりに取り組みます。

オフィスに、家庭になくはない機械をつくっていききたい。またそれら機械をメディアとして捉えて「拡」出版の方向へ新たな飛躍を遂げたいと思います。

ふつうの人が簡単に使えるメディアパソコン。それがアスキーの願いです。



ASCII PEOPLE





● 出版局

PUBLISHING DIVISION

ペーパーメディアによる出版事業はアスキーの創立事業であり、根底を支える活動です。



ハイテクノウハウとマーケティング
の結合で無比の出版社にしたい。

取締役、出版局長
藤井 章生



若いパワーの会社から成熟した
パワー溢れる会社へ——。

理事、出版局局長室 部門長
西村 弘紀

コンピュータテクノロジーをさまざまな視点からとらえ、その理論、活用法を広く一般に普及させていくアスキーの出版活動。月刊アスキー、ログイン、MSXマガジン、UNIXマガジン、ファミコン通信の雑誌をはじめ、コンピュータ関連書籍、ビジネス・一般書、テクニカルマニュアルにいたるまで、幅広い分野をカバーしています。高度な技術力、優れた情報収集力をベースにしたこれらの出版物は、信頼性、先見性、分かりやすさ、いずれも高く評価され、多くの読者の支持を得ています。今後も皆様の期待に応えるべく、アンテナをはりつづけ、内容の充実をはかっていきます。



月刊ASCIIをはじめとした雑誌、コンピュータ関連書籍、ビジネス一般書、そしてテクニカルマニュアルまで、幅広い情報を提供し続けるアスキーの出版事業。



他とはひと味違った編集環境。編集者1人に1台のパソコン、端末が配られています。この恵まれた電子編集環境で、出版局をあげて制作プロセスの電子化、CD-ROM、DTP(デスクトップ・パブリッシング)などの技術開発にも取り組んでいるのです。(写真は月刊ASCII編集部)

●**アスキー編集部** アスキー創立より今日まで、コンピュータ関連のさまざまな情報を発信している、月刊ASCII。内外の技術動向を鋭く分析し、コンピュータテクノロジーの現状と今後の展望を的確にとらえた誌面づくりは、専門家、マニアの間でも定評があります。

●**ログイン編集部** パーソナルコンピュータのエンターテインメント性を徹底的に追求した雑誌LOGIN。技術指向ではない、コンピュータの楽しみ方を提案し、誌面は面白いっぱい。また隔週刊誌「ファミコン通信」の編集も行っています。

●**MSXマガジン編集部** アスキーが提唱したMSXホームパーソナルコンピュータの専門誌、MSXマガジン。ホームユースとしてのパソコンの可能性と活用法、最新のソフトウェアやハードウェア情報などを紹介しています。

●**アспект編集部** アスキーの子会社ビジネス・アスキーで発行する単行本の編集が主な業務です。情報社会におけるビジネスの知的ノウハウを提供しています。

●**UNIXマガジン編集部** 16、32ビットコンピュータの次期標準OSとして注目されているUNIXの専門書。コンピュータ技術者からアプリケーションユーザーまで、市場や技術動向を多角的にとらえた、充実した記事内容を提供しています。

●**第一書籍編集部** 数あるパーソナルコンピュータ関連の出版社の中で、圧倒的な支持を得ているアスキーの書籍。高度の技術力、優れた企画力を基盤に、初心者からマニア、コンピュータエンジニアまで、幅広い読者層にアピールできる、質の高い出版活動を行っています。

●**第三書籍編集部** OEM書籍・社内報・販売促進のための出版、ツールの制作などを行う部門です。ユーザーの立場にたったユニークなアイディアを、メーカーの皆様に提案しています。

●**テクライト** OEMを中心としたマニュアル制作部門です。OSからプログラミング言語、アプリケーションまで、その完成度の高さは、多くメーカーから絶大な信頼を得ています。その他、CAIコースウェアの制作やオンラインマニュアルの開発も行っています。

●**MIA出版事業部** コンピュータ技術関連の出版が主体のアスキー出版局にあって、一般書、コミック、ゲームブック等、異色の出版をする事業部です。もちろん、コンピュータ関連書籍の出版も行っていますが、その編集方針は、あくまでユーザーフレンドリーに徹したものを目指しています。

●**出版技術部** 将来の出版活動を担うニューメディア出版、オンライン編集やコンピュータ・レイアウト等の電子出版技術の研究を行っています。

●**出版営業部** 雑誌、書籍、ソフトウェアを全国書店を通じてお届けしています。いつでもアスキーの雑誌、書籍をお買い求めになれるよう、徹底した商品管理を行っています。

●**広告営業部** 雑誌、書籍、ソフトウェア、ネットワークなどのメディアにおける広告営業・企画を担当しています。

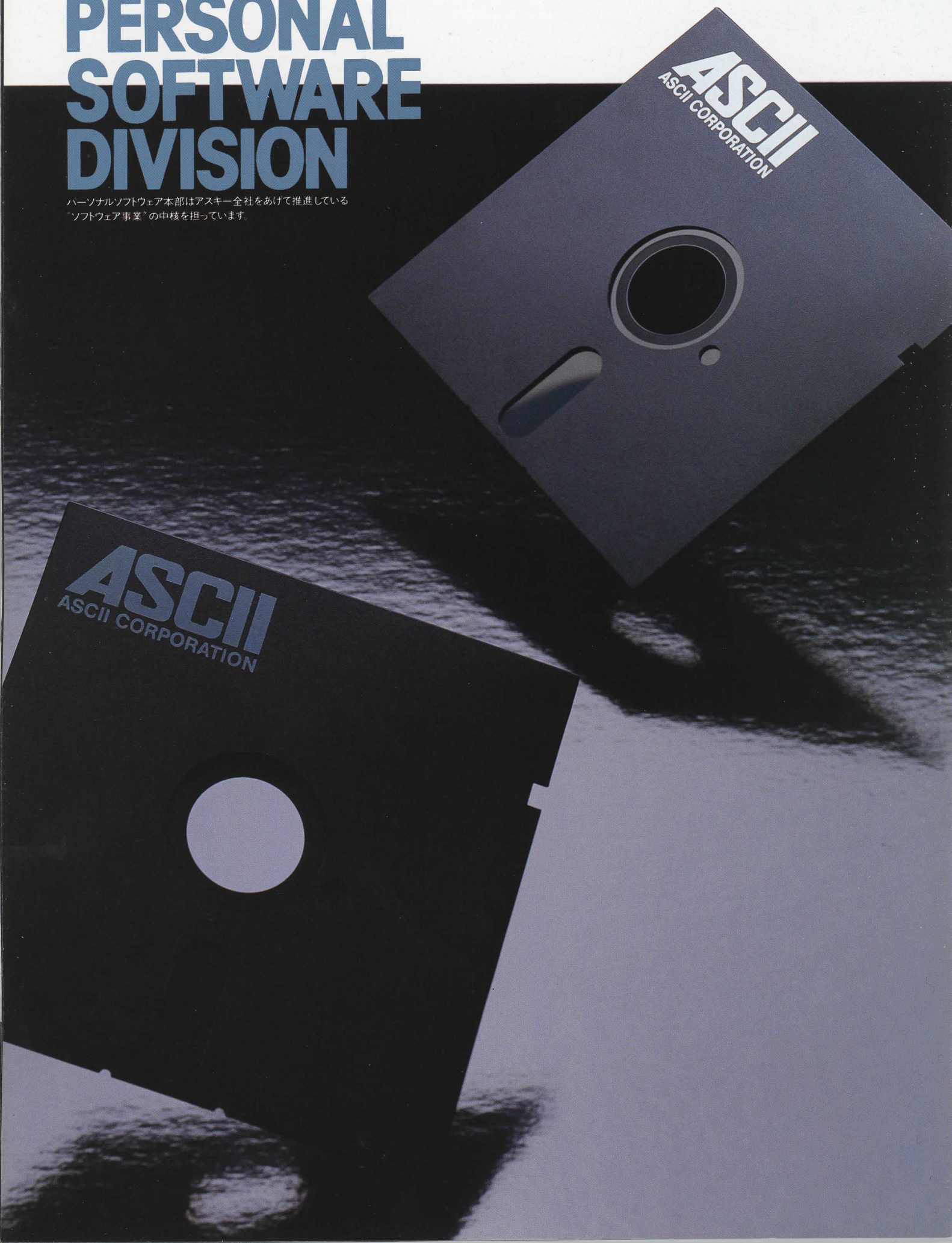
●**出版業務室** 出版局で扱う製品の発注管理業務および宣伝・パブリシティ、各種セールスプロモーションの企画、運営など、出版業務をトータルにサポートしています。

●**局長室** 出版局長の秘書業務、予算編成と管理、出版局内の諸業務のチェックなどを行う、管理部門です。

● パーソナルソフトウェア本部

PERSONAL SOFTWARE DIVISION

パーソナルソフトウェア本部はアスキー全社をあげて推進している
“ソフトウェア事業”の中核を担っています。



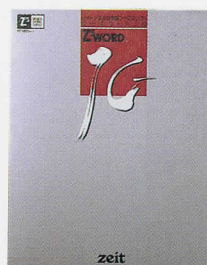


マニュアルなして、誰にでも簡単に
使えるソフトウェアを目指す。
常務取締役、
パーソナルソフトウェア本部長
浜田 義史



個人の能力を最大限に引き出し、
能率のよい製品の開発に取り組
んでいきたい。
理事、アプリケーション開発部長
宮崎 孝

誰もが抵抗なく使え、人間の思考、発想や感性を高め、手助けをするソフトウェア。特に個人が仕事や趣味の世界で使用するソフトウェアは、より個性的で柔軟性、簡易性などを兼ね備えた製品が要求されます。アスキーでは、このようなユーザーの方々のさまざまなニーズにお応えするために、ビジネスアプリケーション、グラフィックスソフトからゲームソフト、MSX用ソフトまで、幅広いジャンルにわたる製品群を提供しています。ひとりでも多くの方々に、パソコンを身近な道具として活用していただけるよう、これからもよりヒューマンライクなソフトウェアを開発していきます。



アスキーの製品は「より使いやすいもの」
「コストパフォーマンスの優れたもの」とい
うことを基本に考えています。



パーソナルソフトウェア本部が対象としているお客様は「個人」。個人のオフィスワークを支援する
ビジネスソフトウェアをはじめ、斬新でエンターテインメント性の高いゲームソフトなどバラエティに富ん
だ開発に取り組んでいます。(写真はアプリケーション開発部)

●**ホームソフトウェア開発部** MSX用ソフトウェアや在来パソ
コン用ゲームソフトウェア、オリジナルソフトウェア等の企画・開
発と営業活動、さらにサードパーティーとの版権交渉などを行っ
ています。エンターテインメント性の最も高いゲームソフトは、作
り手の感性が問われるところ。ひとりでも多くの方々に、パソ
コンの楽しさ、おもしろさを体験していただけるよう、たくさん
の斬新なアイデアを、いち早く製品化しています。一方、海外
版権交渉とその商品化、新しい技術の評価のほか、ホームソフト
ウェアの全般的なマーケットリサーチも実施。ユーザーの方々の
ニーズを的確に捉え、製品に反映するために、常に内外の動向を
鋭くキャッチしています。

●**アプリケーション開発部** ここ数年来、急激にマーケットの
拡がりをみせるパーソナルソフトウェア。ハードウェアの機能向
上に伴い、より使いやすい製品の開発が望まれています。アプリ
ケーション開発部では、このようなニーズに対応するためにビジネ
スアプリケーション・ソフトウェア、各種ユーティリティソフトウ
ェア、グラフィックス関連ソフトウェア、MSX用ビジネスソフト
等の製品化に取り組んでいます。ワープロソフト、スプレッドシ
ート、データベースを核とした、ローエンドからハイエンドの製品
群、さらにグラフィックス関連のソフトを加えたこれらの製品の
組み合わせ。用途・目的に応じて自由に使いわけられるよう、柔
軟性のあるソフトウェア体系を実現しています。また、かな漢字
変換システムなど、他のソフトウェアハウスとの共同開発、OEM
セールスも積極的に行っています。今後も使いやすさ、機能、価
格ともにバランスのとれた製品を開発していくとともに、ソフト
ウェア、マニュアル等の品質管理を徹底し、よりご満足いただ
ける製品を提供していきます。

●システムソフトウェア事業部

SYSTEM SOFTWARE DIVISION

システムソフトウェア事業部は、あらゆるメーカーや企業をお客様にと、
パソコンからミニコンまでを対象とした各種システムの企画・開発を展開しています。



進化する風土を常にもっている
企業であり続けたい。

取締役、システムソフトウェア
事業部長
滝田 賢太郎

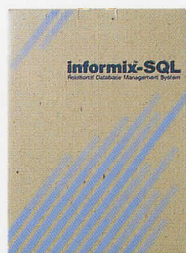


社会的に意味のある、優れた
ソフトウェア技術を持った会社
にしたい。

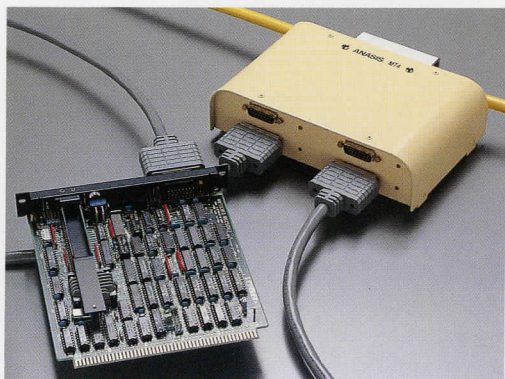
理事、システムソフトウェア事業部
副事業部長
深瀬 弘恭

急速なVLSIの技術革新は、メインフレームなみの高性能・高機能なMPU、より安価でハイパフォーマンスなコンピュータの出現をもたらし、これにともないより高度なアプリケーションや本格的な分散処理システムの登場が切に望まれています。

システムソフトウェア事業部では、こうした要請に総合的に応えるため、UNIXをはじめとしたOS、グラフィックス、ネットワーク、データベースなどの多彩なシステムソフトウェア領域をターゲットに、優れた開発環境の下、トータルなシステムソリューションおよび標準化の研究・開発を進めています。加えてアスキーは、業界の先進企業としての役割を全うすべく、世界中から先端技術・市場動向の情報を収集・把握・分析。現在から将来にわたるコンピュータテクノロジーの可能性を見極め、真に利用価値の高いソフトウェアとコンピュータシステムを追求しています。



UNIX、MS-DOS上で利用できるリレーシ
ョナルデータベースinformix-SQL。



パーソナルコンピュータ
LANシステム、ANASIS。

●オペレーティングシステム UNIXの本格的普及期を迎えた今日、日本でいち早くUNIXをサポートしたアスキーは、その実績と蓄積されたノウハウでユーザーのさまざまなニーズに対応しています。特にシフトJISコードを開発した漢字化技術は、各分野で高い評価を得ています。UNIX4.3BSDをはじめ、Cクロスコンパイラ、データベースなどUNIXの機能をフルに活かす各種開発ツールからアプリケーションまで幅広く製品を提供しています。また、UNIXのほかにも今後さらにマルチプロセッサシステム、OS、高度化・大規模化するアプリケーションソフトウェアなどに関する研究開発を進めています。

●リレーショナルデータベース 1984年に米国インフォミクスソフトウェア社と提携。以来、米国UNIX市場でNo.1のシェアを誇るリレーショナルデータベース「informix」はパソコンからメインフレームまで幅広いレンジをカバーするデータマネジメントのための開発ツール。UNIXの標準的なファイルアクセス方式であるC-ISAMをはじめ、informix-SQL、informix-ES QL/Cなど今後、リレーショナルデータベースの主流となる優れた製品を提供していくつもりです。

●グラフィックスソフトウェア 米国GSS社との提携のもと、グラフィックス・インターフェイスの標準化を図るソフトウェアGSS・CGI、さらに次世代グラフィックス・コントローラを使用したファームウェアDGISを提供。これら、GSS・CGIやDGIS提供によってWINDOW環境を整備し標準化を進めることを目指しています。またアプリケーションとしてもデスクトップパブリッシングを実現するMICRO TEXなど、グラフィックス分野をリードする製品の開発を進めています。

●ネットワークシステム パーソナルコンピュータを中心としたLAN構築のための商品群「ANASIS」、米国サン・マイクロシステムズ社開発のNFSをベースにしたネットワークソフトウェア「PC-NFS」、さらに通信用マルチタスクOS「AMTOS」など、ローカルエリアからワイドエリアまでユーザー・ニーズに対応するネットワーク環境構築のためのトータルなシステムを提供。アスキーならではの、ハードウェアメーカーに依存しない独立した立場で、ネットワーク・アーキテクチャの標準化を推進していきます。

●システムインテグレーション データ放送やメディカル・インフォメーション・システム、未来OA環境など大手企業との共同開発プロジェクトも積極的に推進しています。またベストセラーとなっている、ワープロ専用機「OASYS」の機能をPC-9801上で実現する「OA shift/98」、「OA word/98」の開発など、システムの統合によって、より使いやすく、より効率のよい製品開発もアスキーの得意とする分野です。



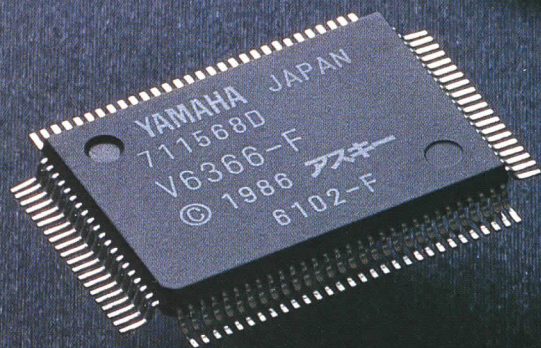
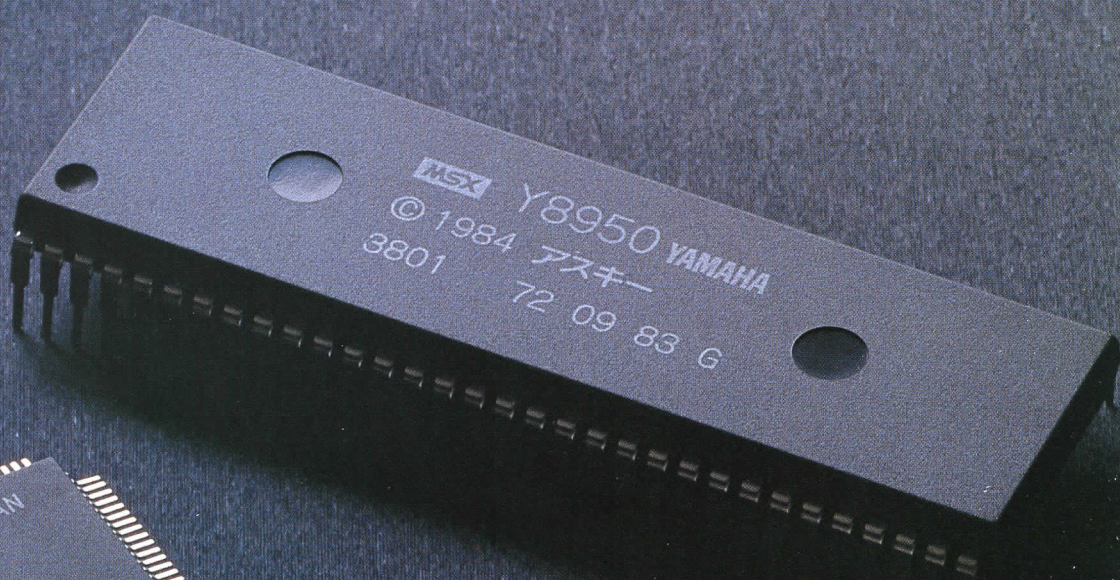
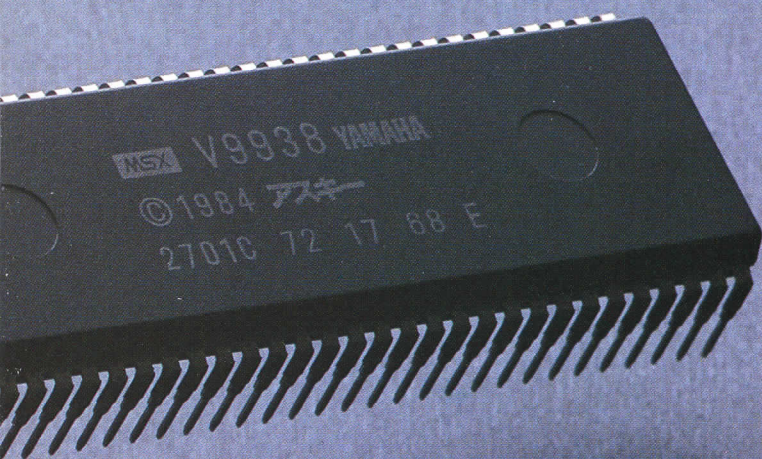
システムソフトウェア事業部では、コンピュータ、ソフトウェアの先行的研究を推進する上で、アスキー自身を常にコンピュータ環境の最先端に位置づけることが大切だと考えています。

(写真はマシンルーム、DEC社のVAXシリーズ)

●システム機器事業部

SYSTEM PRODUCTS DIVISION

システム機器事業部で扱っている製品は、
ソフトウェアとハードウェアのよりよい融合を目標に開発されています。
製品の販売は、主にOEMメーカーを通じてお届けしております。





一歩先を進む為、二歩先を見、十歩先の目標を持つ会社でありたい。

取締役、システム機器事業部長
高橋 健一



小さくてもパワフル、プロフェッショナルな型にはまらない会社でありたい。

理事、システム機器事業部技師長
山下 良蔵

技術革新による、社会・経済全般にわたる大きな変革の波。この変革の中でも、とりわけ影響力の大きいのがコンピュータと通信であり、その中核を担っているのが、LSIとソフトウェアです。急速な技術革新を真に社会にとって有意義なものにするためには、この両者のよりよい融合がきわめて大切な要素になるといえるでしょう。

システム機器事業部は、今日までに築きあげたソフトウェアの開発技術やその利用技術を知識ベースとして、ソフトウェア側からの視点でLSI開発やシステム設計を進めています。絶え間なく変化する技術の流れを見極め、製品化に結び付けるため、内外の開発会社とも積極的に提携し、他に類を見ない画期的な製品づくりを目指しています。



クリーン&シャープ。創造性あふれる他からは真似のできない会社になりたい。

理事、システム機器事業部
副技師長
石井 孝寿

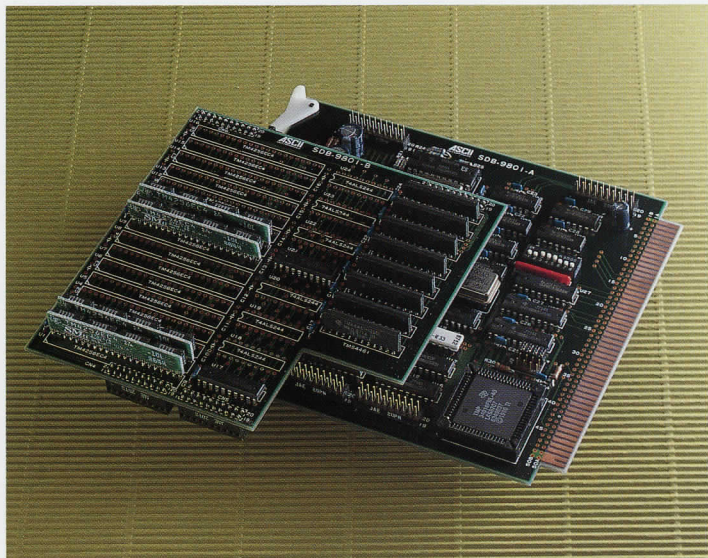


386チップセット

米国チップス社の386チップセット。このチップセットの使用により、32bitパソコンが提供でき、IBM PC/AT等のアプリケーションソフトに対しても優れた性能を発揮します。



1983年、アスキーが提唱した8ビットパソコンの世界統一仕様MSX。
(写真は、オランダ・フィリップス社製)



SDB9801 米国テキサス・インスツルメンツ社が開発した新世代グラフィックス・システム・プロセッサTMS34010をNEC PC-9801シリーズ上で評価、開発するための支援ボードです。

●LSI 1984年より ASSP(Application Specific Standard Product)として開発開始。現在、自社開発製品の他、日本総代理店として、米国チップス・アンド・テクノロジー社 (Chips and Technologies, Inc.)製品を、また販売特約店として、テキサス・インスツルメンツ社製品を、システムソフトウェアや、ノウハウとともにお届けしています。

●MSX ホームパーソナルコンピュータの標準化をめざすMSX。現在、単一機種で最大の販売台数を記録し、ソフトウェアも各種アイテムが製品化されています。今後もMSX仕様のバージョンアップ、基本ソフトの開発・供給、ハードメーカーやソフトハウスへのテクニカル・サポートを強化するとともに、将来のホームパーソナルコンピュータにむけての研究・開発を推進していきます。

●コミュニケーション 郵政省推奨通信プロトコル JUST PC 300/1200のMODEMソフトウェアをはじめPC-FAX、PC-VOICE MAIL SYSTEM等パソコンとコミュニケーションにかかわるシステムを開発しています。また、回線エミュレータ等の開発環境も提供しています。

●その他プロジェクト CD-ROM、データ放送、ISDN、自動車ナビゲーションシステム、等これから発展の予想されるシステムについて各種協議会、プロジェクトに参加。仕様の決定やソフトウェア、ハードウェアの開発も進めています。



●電子出版局

ELECTRONIC PUBLISHING DIVISION

アスキーのネットワーク事業は、「パソコン通信がないと困る」という時代の到来と、パーソナルコンピュータの地位をより高める重要な役割を果たすと考えています。



アスキーによって今の「パソコン」の名称が「Multi Media Viewer」となるようにしたい。

代表取締役副社長
電子出版局長
塚本 慶一郎

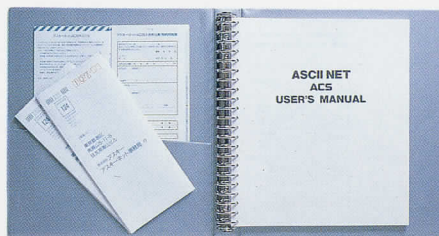


ベンチャースピリットを忘れず、常に新たな分野を開拓していきたい。

理事
電子出版局編成室 部門長
宮崎 秀規

コンピュータと通信技術が結びついた、新しいコミュニケーション手段「パソコン通信」。アスキーでは、このパソコン通信のメディアとしての価値にいち早く着目して、昭和60年5月よりASCII NETの実験にとり組み、62年3月、いよいよ実用サービスとして本格稼動を開始しました。電子出版局は、このASCII NETに代表される電子出版関連のさまざまな製品を開発しています。

電子メディアを、より日常に密着した情報交換の場として機能させ、パーソナルコンピュータの可能性を開発していきます。



新しいコミュニケーション空間の創造をめざしてはじまったアスキーのネットワーク事業。より付加価値の高いサービスの提供とビジネスとしての広がりを追求しています。

●**編成室** ASCII NETの全体設計と企画、ディレクション、その他の複合メディア展開のプランニングなどを行っています。テレコンピューティングを広く一般に普及させるための、コーディネーターとして機能します。

●**番組制作部** メディアの価値を決定づけるのは、提供する情報の中身です。より充実したネットワークサービスを提供するために、番組制作部は、ASCII NETをはじめとする、電子メディア上の編集業務、その他サポート全般を行っています。ASCII NETの番組編成やメニューの作成・維持・更新、他のネットワークとの情報交換、企業単位の電子掲示板「BBS」の運営などが主な業務です。

●**NET技術部** アスキー・ネットワーク・システムにおける通信用ソフトウェア——センターソフトと、端末用ソフトを開発しています。

●**センター運用部** ASCII NETは24時間フル稼動しています。このセクションは、センターのハードウェア施設の保守管理をはじめとする、よりきめ細かなユーザーサポートを担当しています。

●**NET営業部** ASCII NETの運営、カスタマーサービスと営業活動が主な業務です。会員データベースの維持、会員募集、会員権の販売、ソフトウェアパッケージの販売等、ASCII NETおよび関連製品に関する質問のサポートを行っています。

●**SIG営業部** ASCII NETその他の電子メディアを核に、企業内プロジェクト、クラブなど、特定団体の活動を活性化していくための企画と運営を代行します。またCCM (Corporate Communication Management) と呼ばれる専用ネットの販売を行っています。

●**NET出版部** 電子メディアに関する出版物の制作部門です。ペーパーメディアを通じて、電子メディアの可能性を社会にアピールしていきます。雑誌「ネットワークマガジン」をはじめ、書籍、販促ツール、さらにソフトウェアのパッケージなどを作成しています。

●**市場開発部** 電子メディアが生み出す新しいコミュニケーション社会で、企業自身、そして製品づくりに、今後この電子メディアがどのように影響し合い、発展していくのか。市場開発部はこの課題をもとに、市場調査、マーケット開発などの他、業界全体に対するカスタムリサーチなどを実施。SIG営業部とあわせ、調査から各種プロジェクトの運営代行、コンサルティングまで、トータルなマーケティング・サービスを提供しています。



現在、ASCII NETは4種類。それぞれが特色豊かな番組制作に取り組んでいます。



●営業本部

RETAIL SALES DIVISION

アスキーの商品はソフトウェアです。
出版・アプリケーション・LSI・ネットワークそして営業本部も、
お客様に常にベストな商品をお届けするソフトウェアを持続けたいと思います。



パーソナルコンピュータを家庭に浸透させるリーダーシップを取ってきたい。

取締役、営業本部長
吉村 昇



磐石な基礎に立つ揺るがぬベンチャーカンパニーであり続けたい。

取締役、
鈴木 豊

営業本部は、ソフトウェアを様々なメディアを通じて提供している、お客様との接点です。すべての製品が確実にユーザーに届くよう、万全のサポート体制を整備しています。テレフォン・サポート、ユーザーサポート、取次店や販売店へのバックアップ、さらに拡販のための各種プランニングや宣伝活動、講習会の実施、企業ユーザーへのコンサルテーションなど、その活動範囲はきわめて多岐にわたっています。そして今後も、ユーザー・ニーズにすばやく対応できるよう、常に市場動向の収集・把握に努め、幅広い分野で先進的なマーケティング活動を推進していきます。



営業本部はお客様との接点。その活動のひとつとして、法人から個人まですべてのユーザーの方々に、より満足していただけるよう講習会を開催しています。アスキーの商品をはじめ、ソフトウェアの基礎から応用まで、個々のレベルに合わせたカリキュラムをご用意しています。

●**西日本営業部** アスキーの西日本の営業活動の拠点として、名古屋以西の流通業やソフトウェア販売店等へのソフトウェアの営業・企画・サポートを行っています。

●**東日本営業部** 東日本地域および全国ネットの流通業へのソフトウェア営業・企画やソフトウェア販売店への営業とサポート業務を受け持ち、また新規販売チャネルも積極的に開拓しています。さらに、販売店を通じて寄せられるお客様の期待や要望を社内にフィードバックし、よりユーザー・ニーズに合致した商品づくりを目指しています。

●**OEM営業部** 出版局テクライトとの協力体制のもと、OEMを中心としたマニュアル、ソフトウェア全般に関する営業・企画、パッケージOEMなどを担当します。

●**直販部** 直接販売業務を担当し、ユーザーに対する通信販売やバージョンアップのお知らせを行っています。

●**販売促進部** ソフトウェア営業全体にかかわる販売促進活動のほか、パソコンショップ等へのサポートやビジネスソフトの講習会の運営、催事のサポートなども行っています。

●**営業技術部** ユーザーからの電話による各種問い合わせを受けする部門です。また電話を通じて流通販売店等へ当社ソフトウェア製品の技術情報を提供しております。

●**宣伝部** アスキー全製品の宣伝業務を行います。媒体広告の出稿計画・管理・原稿制作のほか、催事や販促の企画立案や実施を行います。

●**資材管理部** アスキー全製品の部材・資材の管理を行っています。また、完成した製品を最終的にチェックし、パッケージングしたうえで、市場に送り出します。

●**業務部** 営業本部全体の管理統括、業務システムの調整、営業本部全般にかかわる計数・データの管理を行います。

●**営業企画室** ソフトウェア営業全体にかかわる企画立案・調整を行ないます。また、開発部門との調整を行いながら、ソフトウェアの仕様の発表や出荷計画を行います。



あらゆる面でバランスのとれた
成長力のある会社になりたい。

取締役、財務部長
藤木 正友



アスキーでの経験が個人の可能性
を無限に広げるエッセンスであり
たい。

理事、経営管理室長
渡辺 洋

●財務部

財務部 業務の拡大につれて、よりきめの細かい財務分析や資金計画が要求されます。財務部では早期より財務システムの電算化を実現し経営面でのバックアップ体制を確立しています。

●経営管理室

人事グループ アスキーの財産は「人」という観点にたつて、意欲的で創造性豊かな社員の採用・育成を行っています。新しい企業にふさわしい組織づくりと同様に、人材の育成は重要なテーマです。人事グループでは、優秀な人材の採用にとどまらず、育成と職場環境の向上などトータルな人間教育を行うことを目指しています。

総務グループ 総務グループは社内の各部が円滑に業務を遂行できるための支援部門です。固定資産、什器備品の購入とその管理・保全を行い、また受付、電話交換業務、その他庶務事項等、全社的なよりよいオフィス環境作りに努力しています。

法務グループ コンピュータプログラムなどソフトウェアの無体財産について、その権利意識が急速に高まっています。法務グループでは、これら無体財産の権利保護のため、工業所有権の登録申請をはじめ、各種契約書の作成・管理を主な業務としております。

●経営企画室

企画グループ ワードプロセッサをはじめ新技術を応用したさまざまなオフィス機器が導入され、企業組織も急速に変化しています。

インテリジェントオフィス開発のために、企画グループは、当社の新技術導入によるオフィス環境の構築を担当しています。新技術の性能や機能のみを追及するのではなく、組織の機能と新技術の融合を研究し導入計画を計ります。

MSXグループ 1983年の発表以来、MSXはホームパーソナルコンピュータとして、個人で、家庭で、そして学校で着実に普及しています。MSXグループはMSXのマーケティング計画やその推進を行います。一般ユーザーが楽しく有意義にMSXを活用していただけるための技術の紹介などを担当しています。

●技術企画室

企画グループ 将来の技術動向をいち早く調査・分析し、アスキー全体の長期的技術戦略を練り上げる部門で、経営企画室と共に明日のアスキーを描く機能を果たしています。

渉外グループ 基礎技術研究分野で、官民一体となるプロジェクト等における立案、推進ならびに調査を行う部門です。

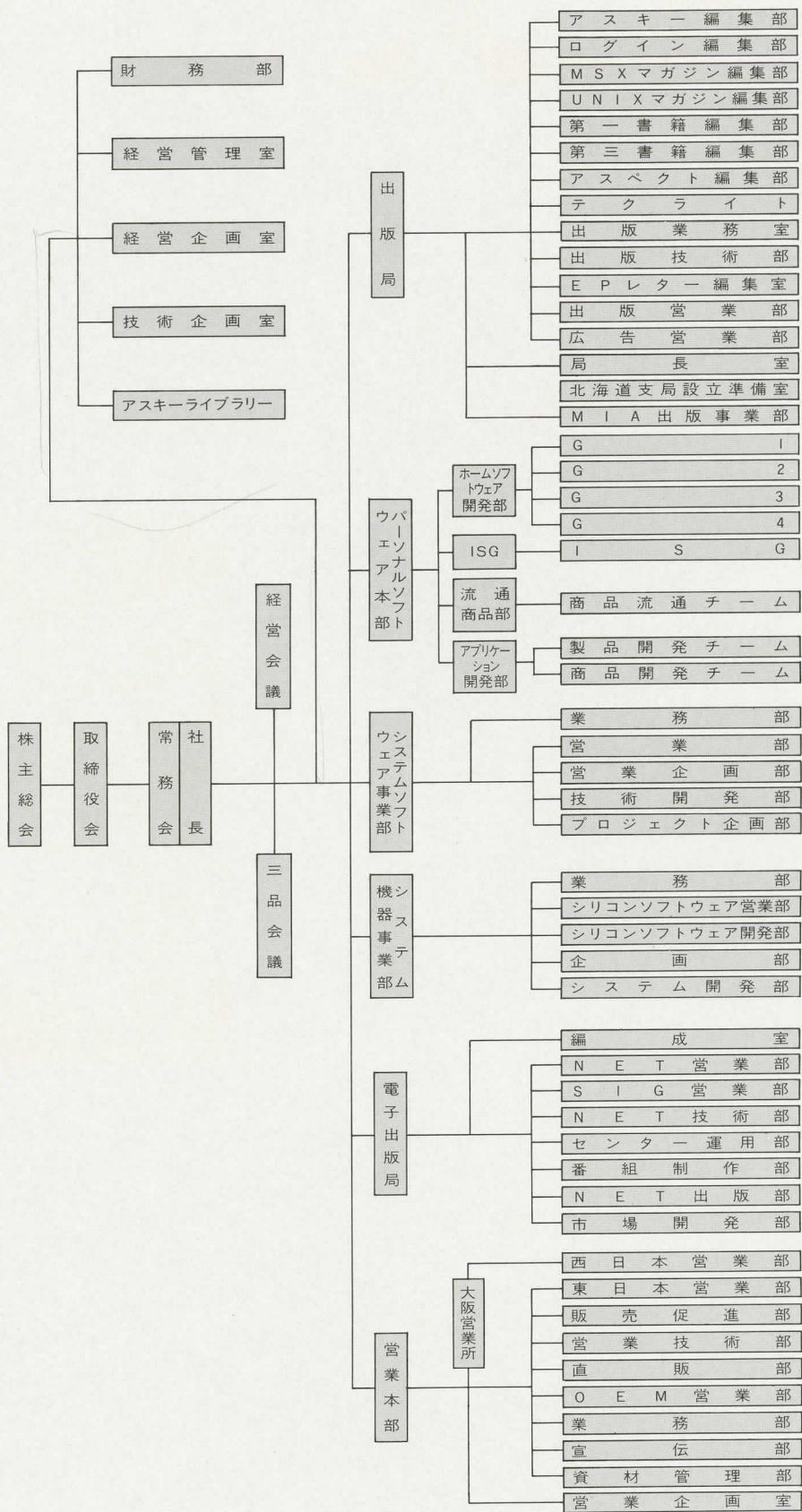
●アスキーライブラリー

エレクトロニクスをキーワードに、内外の各種文献・資料・図書データベースを収集・管理、ライブラリーとして社内サービスします。また、収集した貴重な情報をさらに整理・編集し、7誌の定期刊行物を社内向けに発行するなど、アスキーの情報活動の要として、積極的な部門となっています。



コンピュータ関連の雑誌、書籍はもとより、一般ビジネス書からファッション雑誌に至るまで揃えられたアスキーライブラリー。

●組織図



出版事業

雑誌	ASCII	
	UNIXマガジン	
	ログイン	
	MSXマガジン	
	ファミコン通信	
	NETWORKERマガジン	
書籍	EP News	
	パソコン関連技術書	
	OEM書籍	
	ビジネス関連書籍	
	ゲームブック	
	各種マニュアル	ほか

アプリケーションソフトウェア事業

ビジネスソフト	CANDY3	
	Thirty	
	The CARD2	
	The FILE	
	The WORD	
	The GLAPH	ほか
ゲームソフト	覇邪の封印	
	戦場の狼	
	1942	
	ウィザードリィ	
	ザ・キャッスル	ほか

システムソフトウェア事業

オペレーティングシステム	ASCII UX/4.2 bsd	
	ASCII UX/4.3 bsd+NFS	
	ASCII UX/4.2 bsd(ハングル版)	
	ASCII OS/286	
	ASCII OS/386	
	ASCII AMTOS	
グラフィックス	X WINDOW	
	GSS * DGIS (日本語版)	
	GSS * CGI	
ネットワーク	ANASIS/Eシリーズ(DOS-DOS)	
	ANASIS/PC-NFS(UNIX-DOS)	
	ANASIS アプリケーション	

データベース(UNIX,DOS共通)	informix 3.3
データベース(UNIX,DOS共通)	informix 3.3/LM
	informix-SQL
	informix-Turbo
	informix-ESQL/C
	informix-4GL
	C-ISAM

アプリケーション/開発環境	親指君(OA word/98, OA shift/98)
	漢字TEX(UNIX)
	漢字MICROTEX(DOS)
	C-Merge

端末ソフトウェア	NTERM
----------	-------

システム開発	メディカル・インフォメーション・システム
	データ放送システム
	オーダーエントリーシステム

ネットワーク事業

ネットワーク	アスキーネットACS
	アスキーネットPCS
	アスキーネットMSX
	アスキーネットCCM

端末ソフトウェア	CTERM
	ESTerm
	88TERM
	CTERM2
	PRONET/98
	PRONET/FM
	PRONET/X1

センターネットワーク用ソフトウェア	UNIX-ASCII NET
	OA-NET
	ホスト/CD-ROM接続(予定)

システム機器事業

LSI

システムロジック

T7775 MSX-ENGINE
S3527 MSX-SYSTEM
S1985 MSX-SYSTEM 2
CS8220 286AT CHIPSET (CT)
CS8221-16.NEAT (CT)
CS8230 386AT CHIPSET (CT)
82C100.101 スーパーXT (CT)
82C206 IPC (CT)
82C606 CHIPSPACK (CT)

グラフィックス

V9938 MSX-VIDEO
V99C37 VIDEOTEX CO-PROCESSOR
V7000 COLOR PROCESSOR
V6355 LCDC
V6366 PCDC

TMS34010 GSP (TI)
CS8240 EGA CHIPSET (CT)
82C435.436 SEGA (CT)
82C441.442 VGA CHIPSET (CT)

通信

82C50.551 (CT)
TMS380 CHIPSET (TI)

その他

Y8950 MSX-AUDIO
J3125 MSX-INTERFACE
TMS320シリーズ DSP (TI)
SDB9801 GSP評価用ボード

ソフトウェア

<DOS、言語、BASIC>

MSX-BASIC 1.0
MSX-BASIC 2.0
MSX-DOS 1.0
MSX-DOS 2.0
MSX-AUDIO
MSX-ARABIC
HHC システムソフトウェア

<通信>

RS232Cソフトウェア
MODEMソフトウェア
GIII FAXソフトウェア
MSX-文字多重
MSX-CAPTAIN

<開発ツール>

MSX-Cコンパイラ
MSX-BASICコンパイラ
MSX-DOS TOOLS
TMS34010 開発支援ソフトウェア (TI等)
MSX-S BUG

<アプリケーション>

MSX-PLAN
MSX-Multiplan
プロフェッショナルシンセ
マウスプレイヤ

※注 CT: Chips and Technologies社製品 (アスキーは日本総代理店です。)

TI: TEXAS INSTRUMENTS社製品 (アスキーは日本TI株の販売特約店としてTIの全半導体を取り扱っています。)

●アスキー関連会社

■子会社

株式会社 エム・アイ・イー

株式会社 エム・シー・イー

株式会社 ビジネス・アスキー

株式会社 キーステーション

■国内主要関連会社

株式会社 ソフトウイング

ブイ・エム・テクノロジー株式会社

株式会社グラフィックス・コミュニケーション・テクノロジーズ

株式会社テレマティーク国際研究所

■海外主要提携先

AI Architects, Inc.(米国)

Chips and Technologies, Inc.(米国)

Graphic Software System Inc.(米国)

International Datacasting Corporation(カナダ)

Madge Networks Ltd.(英国)

NEXGEN Microsystems, Inc.(米国)

(ABC順)



ASCII
ASCII CORPORATION
株式会社アスキー

〒107 東京都港区南青山6-11-1
スリーエフ南青山ビル

PHONE/03-486-7111 TLX/J28754 ASCII FAX/03-499-2146